

# 番傘川柳本社 7月投句句会

締め切り……令和7年6月15日  
 参加者 102名  
 投句整理……中岡 千代美  
 柴田 桂子  
 名簿作成……中岡 千代美  
 西上 遊二  
 清記

## 宿題 あやふや 橋田 綾子 選

年齢は聞かぬが花でしようウフフ 小林すみれ  
 あやふやな位牌家系図チェックする 山岸 洋美  
 あやふやはあやふやのまま多数決 高瀬 秀子  
 晴れ曇り時には降ると言う予報 安西 廣恭  
 あやふやな指切りをしてまだひとり 塩谷 邦子  
 あやふやな恋の行方はしゃぼん玉 藏田 康子  
 あやふやな返事で妻に詰め寄られ 三瀬清一朗  
 妻の小言あやふやに聞き恙なし 吉丸 等  
 あやふやな英語で妻のパスポート 橋本 恭治  
 あいまいな話が続くケアハウス 福本 清美  
 イエスノーあやふやにして風を待つ 常國 喜好  
 また会おう誓いはおぼろクラス会 細川 正章  
 じゃあまたね日本文化の曖昧語 村田 賢爾  
 あやふやな男が不思議よくモテる 羽生 悦郎  
 煮え切らぬ主治医の顔にもしかして 原 加代子

あやふやがいいときもある人の仲 和泉富美子  
 あやふやな態度の中にある本音 中谷 栄子  
 あやふやな返事に覗く人の味 桑野まりこ  
 人間の機微はあやふや気もめる 森 繁生  
 あやふやな指導に迷い出す生徒 毛利 元子  
 原発の処理水あやふやな末路 碓氷 祥昭  
 あやふやな舵取り日本丸どこへ 鮎子田嘉子  
 会釈され誰とも聞けずあつ貴方 穴戸三喜恵  
 足して二で割った答えは出てこない 更谷 風見  
 玉虫色を生きて敵なし処世術 森島アツ梗  
 タヌキだとわかっていても名がでない 楠本 晃朗  
 あやふやな手つき男の一人人口 瀬戸 波紋  
 ゼリ状になって時々すねて見る 近藤 クニ  
 あやふやな記憶蹴散らすケセラセラ 入江 晴菜  
 あやふやに生きてる僕は影がない 大岩 郁夫  
 あやふやな上司に部下が去っていく 水戸 二七  
 母ちゃんの記憶ええことづくめで 柴本ばっは

## 宿題 もがく 八木 幸彦 選

書き順はあやふやのまま齋微と鬱 西谷 公造  
 成人をしても少年Aのまま 西川 東岳  
 あやふやな地図で楽しむ埋蔵金 富川 章  
 邪馬台国は白黒つけず夢つなぐ 谷口委佐子  
 あいまいな話の裏を読める母 小林 祥司  
 人知れず辞書で調べる生き字引 阿部 俊八  
 あやふやな漢字に困る編集部 田中五十鈴  
 あやふやな覚悟で出来ぬ米作り 橋田 綾子

生きるためいまだもがいている私 大岩 郁夫  
 うどん屋の暖簾が行列にもがく みよしすみこ  
 メンタルの弱さを知っている枕 小代千代子  
 このままでいいのか踊く青春期 毛利 元子  
 倒産の憂き目もがいた日の記憶 横山 順子  
 溺れかけ必死にもがく夢の中 香川 保子  
 もがくほど絡まってぐる蜘蛛の糸 西谷 公造  
 犬かきでもがいて渡る鬼世間 森島アツ梗  
 てにをはにもがき楽しむ一行詩 阿部 俊八  
 生きる意味探しもがいた青いころ 替地三枝子  
 解決の糸をさがしてもがく芯 中谷 栄子  
 もがくのを止めて気楽な深海魚 西川 東岳  
 浮く筈のプールの中もがいている 村田 繁一  
 もがくほど底無し沼に落ちて行く 西澤 司郎  
 てっぺんへ野心追いかけて無我夢中 高瀬 秀子



ハラスメント令和の口説き多難です

説得の汗本物と信じたい

口説き上手が世の中うまく廻してる

口説かれてみたいが賞味期限切れ

交渉の詰めはやっぱり金になる

転勤辞令単身赴任口説かれる

やっとこさ口説き落とした後継者

口説かれた話にいつもつく尾鰭

いい加減にお嫁に行けと猫口説く

介護のための結婚はごめんです

強国は口説くミサイルちらつかせ

ドラフト会議口説き上手は誉め上手

オモシロイ口説き方にもクオリティ

熱心に口説くが猫は知らん振り

口説かれてみたいと思う歳の暮

朝八時散歩を口説く犬二頭

太陽の笑顔素敵な君が好き

あの時は素面で言っただけだった

満汗の山で口説いた朱印帳

小遣いが欲しくて口説くじやばば

夏休み親を口説いて初登山

是非是非と面接官に口説かれる

外堀を固め定石打ってゆく

口説かれた昔もあつた赤い靴

口説いても知らん顔する揚羽蝶

藤井 裕美

中武 弓

若山 宗彦

坂本 和子

福本 清美

嶋 喜八郎

小林 祥司

橋田 綾子

楠本 晃朗

入江 晴菜

山口由利子

土居 直子

田中 葵

大岩 郁夫

高橋 孝造

富川 章

高瀬 秀子

塩谷 邦子

西陣 五朗

香川 保子

香川 大

住田 照水

志方 智外

藏田 康子

田中 堂太

子供より親を巧みに口説く塾

老いの町世話やれと言われても

ダメなものはダメで口説けぬ土井たか子

春の陽が口説いた母のひなたぼこ

このランブ薬師如来が出てくるの

AIの力も借りてプロポーズ

波高しテトラポットを口説いてる

別腹に口説かれケーキキキング

半分こしてと鰻に口説かれる

宿題 気がつけば

岩田

明子 選

毎日がてんこ盛りです青い空

後継者不在に気づくコメ農家

備蓄米届かぬままに秋になる

祝い金交付で気づくそんな歳

温暖化水河が大分落けている

アツという間に夏目になって逃げた春

一年もあつという間のロスタイム

人類のエゴが招いた地球危機

親の年になって老いとはこんなもの

雨ぼつり持参の傘はどこへやら

ガン検査もつと早目にしていけば

一気に読了気づけば既に白む空

気がつけば嬉しくもない誕生日

気がつけば昭和百年傷だらけ

鈴木 裕三

池本 ゆき

松下 英秋

村上 哲子

村田 賢爾

西川 東岳

みよしすみこ

藤井満洲夫

鈴木ささ子

高瀬 秀子

住田 照水

みよしすみこ

瀬戸 波紋

安西 廣恭

入江 晴菜

阿部 俊八

和泉富美子

富永 照子

横山 順子

藤井満洲夫

土居 直子

塩谷 邦子

村上 哲子

断捨離も気づけば元の物の山

気が付けばひとり芝居の楽近し

気がつけば孫の成長邪魔してる

気がつけば孫に子どもがいる齡

人形と会話ひとりの寒い部屋

口止めの話だったじゃべってた

足腰の痛み覚えて俺も歳

知らんかったえっあの時だったんや

似たような失敗をまたやってる

気がつけば弔辞読むと先に逝き

物故者が増えて解散クラス会

気がつけば幸せボクロ消えている

オベ二日やつと正気に安堵する

突支棒無くし知らずに強くなる

気前よく孫へ財布の口が開く

よくみたら私なかなかい女

贗作と知らず飾っていた絵画

月面に国境線が見え隠れ

気がつけば三途の川の舟乗り場

銭湯が消えてご近所遠くなり

裏読みと深読みの癖身に付ける

気がつけば時代遅れになっていた

もう七月あと半年は寝て暮らす

ああ今日も固有名詞が出てこない

面白く朝まで読んだミステリー

替地三枝子

山口由利子

島田千代子

田中五十鈴

小代千代子

柴本ばつは

山内 悦次

植野 繁子

常國 喜好

森 繁生

富川 章

桑野まりこ

橋本 恭治

栗原つや子

能田 文夫

小林すみれ

更谷 風見

西川 東岳

松下 英秋

村田 繁一

志方 智外

南 高志

楠本 晃朗

藤井 裕美

嶋 喜八郎

本の虫ふと気がつけば午前様 西谷 公造

宿題 熱気 田中 新一 選

友と会う不思議に湧いてくる熱気 島田千代子

九条を語れば熱気平和論 主税みずほ

熱気むんむん討論会の果てがない 富永 熙子

駅伝のタスキへ熱気沸く茶の間 田中五十鈴

風鈴もギブアップする熱帯夜 安西 廣恭

秒読みのタイムセールに主婦の群れ 鈴木 裕三

うなぎ屋の熱気吐き出す換気扇 みよしすみこ

続く列熱気渦巻くパピリオン 細川 正章

米売場熱気を浴びる備蓄米 村上 哲子

購入へ熱気の帯びる備蓄米 戸田 清孝

コメを買う長蛇の列にある熱気 常國 喜好

売り切れの時間を計っている熱気 茶谷 好太

綿密なデータ分析熱気生む 志方 智外

エラーにも熱い思いの草野球 替地三枝子

反撃のチャンス熱気に湧くベンチ 三瀬清一朗

ボルテージ上がるチャンスの応援歌 鈴木かつえ

甲子園トラの熱気が立ち込める 西澤 司郎

応援に熱気がある孫の番 香川 保子

青春の沸点だったビートルズ 穴戸三喜恵

たましいを抜け殻にしたビートルズ 石谷 恵子

今朝も熱気ガツン伝わるショウタイム 藤井 裕美

復興へ熱い思いが滾る能登 西谷 公造

石川の快挙むんむん大の里 羽生 悦郎

会場の熱気やっぱり生の声 佐藤 后子

趣味の会若い熱気に刺激され 鈴木さゑ子

講演の余談熱気を帯びてくる 山田 順啓

敵選の句会披露に耳尖る 碓氷 祥昭

大会の熱気の中は友も敵 桑野まりこ

同窓会おわりに熱気舞いあがる 田中 堂太

お神輿の熱気に神も上機嫌 西川 東岳

お祭りの熱気求めて浴衣着る 山岸 洋美

熱気覚めため息となる後始末 瀬戸 波紋

たっぷりと墨を含んだ竜の町 谷口委佐子

寄り道でもらった熱気持ち帰る 弘津 明子

子を思うばかりに熱くなる小言 青嶋由紀美

推し活に年も忘れてもう夢中 栗原つや子

私に刺さるあなたの熱視線 小林すみれ

まだまだと古希で花咲く狂い咲く 原 加代子

生演奏のように熱気の水たまり 小林 祥司

アトリエの画家の熱気に散る火花 更谷 風見

推敲の指が熱気をおびてきた 近藤 クニ

もう迷わない信念のペン走る 竹明なおみ

最後まで生ききる熱気溜めている 和泉富美子

水に触れ火に触れ拳天へ向く 小代千代子

若き日を語れば老いも熱くなる 阿部 俊八